

令和6年度第2回厚木市セーフコミュニティ推進委員会 議事録

1 開催日時 令和7年1月30日(木) 午前10時から11時30分まで

2 開催場所 第2庁舎 16階 会議室A

3 出席者 厚木市セーフコミュニティ推進委員会委員 5人

4 傍聴者 なし

5 議事

- (1) 厚木市セーフコミュニティ推進条例運用状況点検報告書(案)について
- (2) 今後のスケジュールについて

6 配布資料

- (1) 令和6年度第2回厚木市セーフコミュニティ推進委員会会議次第
- (2) 厚木市セーフコミュニティ推進委員会の会議等の公開に関する要綱
- (3) 令和6年度厚木市セーフコミュニティ推進条例運用状況点検報告書(案)
- (4) セーフコミュニティ活動に係る今後のスケジュール

資料1

資料2

7 会議概要

- (1) あいさつ 前場委員長
市民交流部 見上部長

(2) 議事

- ア 厚木市セーフコミュニティ推進条例運用状況点検報告書(案)について 資料1
- 厚木市セーフコミュニティ推進条例運用状況点検報告書(案)について、推進条例第4条から第10条まで順次取組等を報告し、委員が運用状況の評価をした。

第4条 市民の役割

【委員意見】

委員 次世代防犯ボランティアによる防犯啓発活動の少年少女フェスティバルにおいて、神奈川工科大学の学生と厚木中央高等学校の生徒が参加しているが、厚木市または学校どちらからの依頼か。また、厚木市からの場合、この2校のみに依頼したか。

事務局 厚木市から2校に依頼した。

委員 今後、厚木市内の他の学校に参加を促していくとよい。

事務局 検討させていただく。

委員 少年少女フェスティバルや闇バイト危険性周知キャンペーンを通して、若者世代に啓発していることは、とても素晴らしい。今後、若者世代だけでなく多くの方にセーフコミュニティ活動を周知していくためには、学校や文化会館等のイベントに乗じて、ちらしやパンフレットを周知していくとよい。

委員 本厚木駅周辺環境浄化パトロールを視察した。自ら参加することで、以前より防犯意識が高まったので、他の参加者も同様だと思う。今後も継続していくとよい。また、少年少女フェスティバルも視察したが、高校生、大学生が、生き生きと小学生及び保護者に紙芝居やクイズを実施しており、とても素晴らしい取組であった。今後こちらの取組も継続していくとよい。

委員 セーフティーベストの配布先はどこか。

事務局 要望がある防犯団体、自治会、民間保育所またはその他個人でも防犯活動を行いたいという方に配布している。

委員 各地区でセーフティーベストを着用しながら防犯活動を行っている傾向にあり、セーフティーベストは定着してきたように思う。

点検結果 概ね順調

第5条 市の責務

【委員意見】

委員 資料1の点検報告書9ページのセーフコミュニティ推進指定地区での依知北地区の活動で、登下校時の見守りとあるが、実際に自らも見守り活動に参加している。体調を崩して活動に参加できない時に、お子さんに「見守り活動に出て来てください」と声を掛けられ、とてもうれしい気持ちになった。

委員 セーフコミュニティ推進地区を設けたことは厚木市の大きな特徴に思う。全国と比較しても各地区に公民館を設けているのは、珍しい。自治会を中心とした、安心安全な防犯地区を作り上げている。

地域安心安全研修会については、2つの自治会がリピーターになったことは評価に値する。また、昨年度より避難所運営委員会が主催しているケースが多いように感じる。

委員 地域安心安全研修会は、現在5つの講座メニューを設けているが、実績を見ると、防災や防犯の要望が特に多いように思うので、メニューを絞ってもよいかもしれない。この研修会はどこが事務局か。

事務局 こちらの研修会は、くらし交通安全課が所管しており、毎年5月上旬に単位自治会向けに実施地区を募集している。

- 委員 公民館はこの研修会について知っているか。また、猿ヶ島自治会では、どのような研修会を実施したのか。
- 事務局 公民館にも周知している。猿ヶ島自治会では、防災講座を実施した。地震後の実施ということもあり、より防災意識を高めていただけた。
- 委員 青パトの活動についてだが、青色回転灯を装備した自動車は、警察で車検証等の手続きが必要となるが、この手続きを簡素化できるとよい。
- 事務局 当市では、青パトの活動費の補助金として、車検証に「青色回転灯を装備した自動車」記載があるかどうかで交付している。手続きの簡素化は、警察本部との協議が必要となる。

点検結果 順調

第6条 基本計画

【委員意見】

- 委員 厚木市は、国際認証を今後目指さず、新しい独自の方法でセーフコミュニティの推進を継続していくとのことだが、国際認証を継続しない理由はなにか。
- 事務局 国際認証取得には、5年間で約1,291万円と予算が多くかかることや、WHOとの関与がなくなり、NGO団体となったことが挙げられる。当市は、3度の国際認証を取得し、セーフコミュニティのノウハウを多く、蓄積してきた。また、国内のセーフコミュニティを推進する他自治体も減少傾向にあり、他自治体も様々な方法で継続の仕方を検討している。当市も、独自の方法でセーフコミュニティを継続していくことになった。
- 委員 厚木市は、今後、独自の方法でセーフコミュニティを推進していくとあったが、セーフコミュニティを継続する国内の他自治体を参考にしていくのか。また、セーフコミュニティの成果について発表する場は設けていくのか。
- 事務局 亀岡市が会長を務める、セーフコミュニティ安全安心のまちづくり全国協議会という組織がある。この組織は、認証有無にかかわらず、セーフコミュニティを継続していく自治体は加入することが可能である。当市は独自でセーフコミュニティを推進する体制にはなるが、この組織には引き続き加入し、今後も他自治体と情報交換を行う場としていく予定である。
- 委員 厚木市の中学校がインターナショナルセーフスクール（以下ISS）を目指す時期に、埼玉県の本本市が認証を目指した経緯がある。現在、本本市は、認証を継続しなくなったため、セーフコミュニティの理念が薄れてしまったように感じる。厚木市で新たなセーフコミュニティの推進体制にすることにおいて、不安なことは厚木市が大事にしてきたセーフコミュニ

ティの理念が薄れていくことである。新たな体制でもセーフコミュニティの理念は大切にしてほしいと切に願う。国内外のセーフコミュニティの有効な取組を厚木市独自の体制になったとしてもぜひ取り入れていただきたい。

事務局 セーフコミュニティ国際認証を目指さなかったとしてもセーフコミュニティの理念を継承していくということは、厚木市セーフコミュニティ推進協議会で承認されている。市民協働による安心安全なまちづくりや、データに基づいたPDCAサイクルを回し、取り組んでいくことは、セーフコミュニティの根幹であり、今後も継続していく。

補足すると令和5年度厚木市セーフコミュニティ推進条例運用状況点検報告書の第6条基本計画において、当委員会委員からの「対策委員会等の正副委員長による座談会は、他の対策委員会との意見交換をすることができ、意義がある。今後も座談会を開催するとよい。」という意見を反映し、セーフコミュニティ推進協議会分科会を発足した。また、基本計画については、「目標値があると成果や進捗が分かりやすく、また目指すべき姿がイメージしやすいので、設定するとよい。」という意見があり、今後、新たな体制や評価機関を設ける際に新たな計画を策定していく予定であるため、いただいた御意見を反映させていただく。

点検結果 順調

第7条 推進体制

【委員意見】

委員 厚木市セーフコミュニティ推進協議会は68団体から委員が選出されているが、具体的にどのような団体か。

事務局 厚木市の安全安心な取組を行っている団体の代表者や行政機関の方々から委員である。具体的には、厚木市自治会連絡協議会、厚木市医師会、厚木市老人クラブ連合会、商工会議所等、行政職の委員においては、厚木消防本部等が委員となっている。

点検結果 概ね順調

第10条 情報提供

【委員意見】

委員 YouTube配信についてだが、配信の広報活動は多岐に渡って実施されていてよい。また、登録者数が伸び悩んでいるが、再生回数は伸びているため、今後もYouTubeの啓発ちらしを配布することで広く周知す

と考える。配信も含めて継続していただきたい。

事務局 今後もY o u T u b e の動画配信やちらしによる周知を継続的に実施していく。

委員 様々な意見を事務局が集約して、1人でも多くの市民にセーフコミュニティ活動を周知していこうという気持ちが表れている。幅広く多岐に渡って、情報提供の手段を広げている。

点検結果 順調

イ 今後のスケジュールについて

資料2

来年度のスケジュールについて、事務局から説明した。

【委員意見】なし

(3) その他

次回会議 3月17日(月) 午前10時から

あつぎ市民交流プラザ 6階602

(4) 閉会 職務代理